

2019 Vol.2

- 01. 芸術文化とひとづくり、まちづくり
- 04. 2019年度事業のご紹介
- 06. 2019年度活動のご報告
- 08. 岡山青年会議所のアツイメンバーたち
- 09. メンバーオススメの飲食店

特別対談
芸術文化と
ひとづくり、まちづくり

大原あかね

公益財団法人 大原美術館 理事長



古市聖二郎

公益社団法人 岡山青年会議所 第69代理事長



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索



次号は9月発行予定です。

発行日 平成31年7月
発行 公益社団法人岡山青年会議所
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所
岡山JCブランディング委員会
委員長：綾部 健二郎
青山 雅史・加藤 高明・津島 周史・大北 大士郎・蒲原 智樹
妹尾 愛希・武元 浩・永山 栄一・野田 龍太郎・馬場 紀行

暖流

公益社団法人岡山青年会議所
Since 1951

公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧くださいありがとうございます。青年会議所(JC)は全国に694あり、それぞれが住み暮らす「まち」がより良くなること、地域経済の活性化や地域が抱える問題解決などを目的に活動している、20歳から40歳までの青年経済人で構成される団体です。

早いもので2019年も半分が過ぎました。その間には平成から令和への改元もあり、いよいよ新時代への幕開けを感じ、私自身とてもわくわくしております。岡山青年会議所の事業もこれから実施となるものが多く、岡山のまちに対してインパクトのある事業をお届けできるよう、しっかりと準備してまいりたいと考えております。今話題の自転車競技「BMXフリースタイルパーク」に関する事業、後楽園と岡山城を結ぶ「月見橋」の魅力を発信する事業や、恒例となった小学生の職業体験事業「キッズビジネスパーク」など多くの事業を実施していく予定です。今年度掲げております「Excitelokayama」のスローガンにふさわしい事業を展開してまいりますので、我々の事業に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 第69代理事長

古市 聖一郎



岡山青年会議所の2019年度スローガン。誰もがわくわくするまちの実現のために、おかやまにしかない「らしさ」を発信し、青年らしい青年にしかできない発想力で創り上げたわくわくする事業を展開できるように、そして我々はもちろん、誰もがおかやまを好きになってくれるようにという願いをこめてこのスローガンを制定いたしました。英字のフォントを採用することで青年らしいスタイリッシュさやスマートさを出すとともに、揺れ動く文字でわくわく感や躍動感を表現しています。

大原あかね

公益財団法人
大原美術館
理事長

特別対談 SPECIAL TALK

芸術文化とひとづくり、まちづくり

公益財団法人大原美術館の大原あかね理事長に、
芸術文化と地域とのかかわり方、
そして大原家が代々担ってきた「ひとづくり」について語り合っていました。

古市聖一郎(以下、古市) 1月に岡山青年会議所の理事長に就任し、また自分自身も3代目として会社を継いでいるので、大原あかねさんにはお聞きしたいことがたくさんあります。大原さんは幼少期のころから、自分が後継者であるという想いはあったのですか。

大原あかね(以下、大原) 兄弟は妹だけで、母からも「大原を継ぐのはあなただから」と言われて育ってきたので、小さいころからその自覚はありました。母もこの子に継がせるしかないという想いが強かったのではないかと思います。また休みの日などに、父親から大原家について話を聞くという時間もありましたので、そうした中で自然と自覚が芽生えていったと思います。あとはやはり、当時京都に住んでいたのですが、お盆とお正月に必ず倉敷に帰ってお墓参りに行っていたことも大きかったと思いますね。

古市 岡山青年会議所では私が69代目の理事長となりますが、毎回トップが変わるので、語り継ぐというのをしなくても、一緒に活動する中で自然と継承されていくのですが、私自身が会社を継ぐにあたって父とそういった話はしていないので、お父様から伝承されていることが素敵だと感じます。また2016年に5代目の大原美術



公益社団法人
岡山青年会議所
理事長

古市聖一郎

館理事長に就任されましたが、展示の内容や方針についてはどのようにお考えでしょうか。

大原 大原美術館の歴史のなかで、「コンテンポラリーである」ということがひとつの筋になっていきます。つまり児島虎次郎がモノのところにいた頃は、モノが現代アーティストだったんですね。民芸運動の作家たちも、当時から大原孫三郎や總一郎が交流していたからこそ、工芸・東洋館ができたという背景があります。つまり大原美術館はその時代の作家さんたちと一緒に歩んできたということが、ひとつの軸になっているんです。

その延長線上で、若手作家の支援を目的としたアーティストのレジデンス・プログラムを行ったり、今年開催する有隣荘の特別公開では、ヴェネチア・ビエンナーレの日本館出品作家である下道基行さんに来ていただいたりしています。「現代」の作家さんたちと一緒に歩んできたからこそ、今の大原美術館の形があると思っています。

古市 その時代のアーティストや若手作家と交流することで、ひとつづくりをしていたのです。岡山青年会議所も、「まちづくり」「ひとつづくり」をテーマに掲げている団体ですが、そういった意味では、大原理事長が新しく始めた

「語らい座」も、「ひとつづくり」につながっていると感じます。どういった思いで始められた取り組みなのでしょうか。

大原 「語らい座」は、父と私が大原家本邸の形が崩れていくことに危機感を感じたことが、そもそもの始まりになります。これがどういうことかというところ、江戸時代から残る家に、昭和や平成の暮らしが入ってくると、お台所が今風のキッチンになったり、昔のお風呂がユニットバスになったりしますよね。「それは本当に良いことなのか」「江戸時代の面影を残したほうが良いのではないか」と考えて、建物を残していくために一般公開することになりました。

その際に大原家の歴史を振り返ってみると「教育」というひとつのキーワードが浮かんできました。たとえば大原孝四郎は、当時の若者が地域の発展のために紡績工場をつくりたいという想いと企画に乗って倉敷紡績所（クラボウ）をつくりました。これはまさに若者育てとも言えます。また孫三郎が様々な人に奨学金を支給していたことも人育てです。

しかし教育といっても幅が広いですし、こちらから何かを教えるというよりも、皆さんの中にある「育みたい」という想いを後押しして、一歩踏み出

ださることは本当にありがたいことだと思います。

古市 岡山青年会議所では不易と流行という、歴史の中で変わっていくことと変わらないことを大切にしているのですが、大原さんの中で、変わらないところと、変えていくところの基準は何ですか。

大原 私が理事長になる以前から、美術館を運営していた方が言われていたことなのですが、この地のためになることを大原美術館はやり続けてきたという歴史があります。そのため、これからもこの地のために我々は居続けなければいけないと思っています。

また私が持っているテーマの一つに、**〇〇×アートは無量大**というものがあるのですが、アートが無量大なのは当然です。しかしアートにかけられたヒトやモノ、コトも無限大の力を持つのではないかと思うんです。

美術館に來たりアーティストと関わったりすることで、いままでの枠を少し取り外せたり、企業の新しいイノベーションが生まれたり、アートにそういう力があることは間違いないと思っていますので、できるだけ多くの方に大原美術館をご利用いただきたいです。美術館と一緒に何かをやることで、次に進んでいけたり、新しい何か



す背中をやさしく押せる場所にしたいと思いました。

だから大原家から何をやるのではなく、「語らい座」に來た人が、大原家の歴史と自分のパッションで化学反応を起こす。その触媒として応援することで、その人の「何かやりたい」という想いが大きくなったらいいなと考えています。

古市 あくまでも大原家が主体となっているのではなく、そこに集った人たちのきっかけづくり、場づくりをしているのです。

大原 「語らい座」の土間に大原家初代から連なる、各代の関係者を幹のよう

に積み上げたキューブツリーが展示を作り出していきたいと思っています。

古市 企業人からすると、大原美術館は聖域と言いますが、ビジネスに使ってはいけないと感じてしまうのですが、そんなことはないんです。

大原 私が言うのも僭越ですけど、大原美術館にはモノやマティスを当たり前に使える贅沢さ、という大きなメリットがあります。

大原美術館のあるまちだからこそできるビジネスの展開や、どう企業に活かしていくかを考えていただければ、私たちがこのまちに居続けた意味が出てくるのかなと感じます。また閉館後に貸切で学芸員と語り合いながら作品を鑑賞する「イブニングツアー」を実施しているのですが、様々な企業や団体の方に研修として利用していただいています。

こうした機会を通じてビジネスとの接点を作りたいと思いますので、ぜひご利用いただければと思います。

ただ、文化・アートは「役に立つ、立たない」という価値基準では測れないところに価値のあるものもあるんです。そのことも大切にしたいと思っています。



大原 そういう意味で言うと大原家が家業を営んでいないというのは、すごく楽な立場なんです。美術館は家業といえませんが、理念で経営できる場所なんです。美術館という場で理念を伝える立場に置いていただくて

「語らい座」は、“ひとつづくり”につながっていると感じます

Seiichi Furuichi 古市聖一郎

昭和54年生まれ。平成15年、日本大学商学部卒業後、株式会社トミヤコーポレーションに入社。平成22年同社代表取締役社長に就任し、現在に至る。平成26年、公益社団法人岡山青年会議所に入会し、平成29年リソース向上委員会理事委員長、平成30年専務理事を歴任し、平成31年より理事長。座右の銘は「道徳なき経済は罪悪であり 経済なき道徳は虚言である。」



アートにかけられたヒトやモノ、コトは無限の力を持っている

大原あかね Akane Ohara

昭和42年生まれ。平成3年、一橋大学経済学部卒業後、金融工学研究所勤務を経て平成12年より大原美術館理事となり、平成28年より同理事長に就任し、現在に至る。くらしき作樂大学特任教授、倉敷市教育委員会委員などを歴任。父で前理事長の大原謙一郎が倉敷レイヨン（現クラレ）の大坂勤務であったころから京都で育った経歴を持つ。座右の銘は「可能ハぶらす無限大 未来ハ過去ヨリ大ナリ」



●事業名 **月見橋バージョンアッププロジェクト**

●日程 **2019年9月14日(土)**

●場所 **月見橋周辺**

後楽園と岡山城を結ぶ
「月見橋」について考えよう!

1954年の岡山産業観光博覧会の開催に合わせて完成された月見橋。後楽園と岡山城を結ぶ橋として多くの方が利用されているものの、景観と調和しないという声もあがっているようです。今回の事業では、まず岡山県内の高校・専門学校・大学に通う生徒・学生から月見橋の新デザインを公募し、コンペを開催。9月14日(土)にはシンフォニーホールでプレゼン大会および表彰を行い、その後は石山公園で一次審査通過作品のプロジェクトマップによる投影や、飲食屋台も出展する「岡山お月見夜市」を開催いたします。岡山市民の皆様と月見橋について考えるきっかけとなる事業を目指します。



※2019年度実施予定事業の内容等は変更となる場合がございます。※写真はイメージです。

●事業名

Excite OKAYAMA, Excite BMX!
～BMXの聖地おかやま体感事業～

●日程

2019年8月24日(土)

●場所

旧岡山市立内山下小学校



内山下小学校でBMXの魅力を体験しよう!

注目を集めている自転車競技「BMXフリースタイルパーク」。競技を統括する国内競技連盟である「全日本フリースタイルBMX連盟」は岡山市に拠点を置いており、女子日本代表選手も岡山に移住するなどさらに熱が高まっています。今回の事業では「BMXの聖地おかやま」を発信する動画の制作および発信と、小中学生向けの体験事業を旧岡山市立内山下小学校で実施いたします。会場には人気の飲食イベント「ストライプマルシェ」による飲食ブースを展開。プロBMXライダーによる迫力のBMXショーやBMX試乗体験を実施いたしますので、ぜひご来場ください。

第26回 うらじゃ2019
この時此地おかやま魂
躍

2019. 8.3sat 4sun



毎年恒例となった
岡山の代名詞
「うらじゃ」

8月3日・4日の2日間、毎年恒例の岡山の代名詞「うらじゃ」が岡山市内各所で開催されます。岡山青年会議所は今年も、岡山の夏で一番盛り上がりと言っても過言ではない「うらじゃ」を裏方としてサポートさせていただきます。今回も118連と多数の踊り連にご参加いただき開催できることに喜びを感じます。毎年観覧に来られる方も、まだ一度も「うらじゃ」に触れたことのない方も、まだ一度も盛り上がりましょう！今年も暑くなることが予想されますので、熱中症対策を万全にして会場にお越しください。

●事業名

キッズビジネスパーク

●日程

2019年9月7日(土)

●場所

岡山ふれあいセンター

6回目となるおかやま最大級の
職業体験事業!

今年で6回目の開催となる、おかやま最大級の職業体験事業を今年も開催いたします。今回は「キッズビジネスパーク2019～もっとおかやまが好きになる～」と題し、岡山ふれあいセンターにて開催いたします。小学校3年生～6年生の児童500名を対象とした職業体験事業で、子どもたちの働くことへの興味関心を高め、実社会の成り立ちや関わりを学ぶことで将来の夢や自己実現に対し意欲を持つきっかけづくりを目的として開催いたします。参加には事前登録が必要となっており、毎年抽選となる人気事業ですので、ご希望の方は岡山青年会議所のホームページよりご登録をお願いいたします。



2019 ACTIVITY REPORT

2019年度活動報告

ビジネスセミナー

会員の成長と市民参加を 目的とした公開セミナー

6月25日、株式会社ストライプインターナショナル代表取締役の石川康晴社長と岡山青年会議所の古市理事長とのトーク形式でのセミナーが行われました。以前より交友関係にあったお二人が、「企業の成長と地域貢献」をテーマに楽しくも興味深いお話をしてくださいました。その後は、現役メンバーと一般参加者との繋がりも生まれ、岡山青年会議所を周知することにもつながりました。

ACTIVITY REPORT 4



さくらカーニバル清掃

岡山のまちをより住みやすい まちにする清掃活動

4月8日午前7時より、旭川河川敷にて、さくらカーニバル後の清掃を行いました。毎年続けている清掃活動ですが、年々放置されているゴミの量が減ってきていることを実感できます。将来、放置されるゴミがなくなり清掃活動をしなくても良くなると信じて、岡山のまちのために活動していきます！



ACTIVITY REPORT 1

理事長公職

まちの活性化のための役職を 担っています！

岡山青年会議所の古市理事長は、理事長職以外にも多くの外部団体で公職を担当させていただいています。おかやま桃太郎まつり MOMOTAROH FANTASY2019 実行委員会や岡山国際音楽祭実行委員会など、岡山のまちの発展や青少年育成のことを考える大切な役割を担わせていただいています。



ACTIVITY REPORT 5

岡山ブロック 野球大会

野球部が大会3連覇！！

4月28日、瀬戸内の地で第68回岡山ブロック会員懇親野球大会が盛大に開催されました。前人未踏のブロック大会3連覇を成し遂げ、岡山JCは新たな歴史を刻むことができました！！
当日会場に応援に駆けつけてくださった皆様、また朝早くから激励にお越しくださった皆様、ありがとうございました！
引き続き、9月に開催される地区大会に向けて練習に励んでいきます。



ACTIVITY REPORT 3

ACTIVITY REPORT 2



ASPAC(済州大会)

アジアの熱気を感じることできる エリア会議に参加！

ASPAC(アスパック)とは毎年アジア地域で開催されるエリア会議で、今回は韓国の済州島で開催されました。ASPACは同じ志を持った仲間たちとの友好関係や協調関係を築き上げるための機会となっています。総会では2年後のASPAC開催地の決定などがなされます。毎年、世界各地の4エリアでそれぞれのエリア会議が開催され、全てに参加するとグランドスラム達成となり、達成メンバーは世界会議にて表彰されます。
岡山青年会議所からも多くのメンバーが参加し、メンバー同士、また、国外の新しいメンバーとの交流を深めることができました。

My Favorite Restaurant

| メンバーオススの飲食店 |



串揚専門店 串兵衛

KUSHIBEI

ご年輩の方でも存分にお楽しみいただける、後のこらない軽い串揚はいかがでしょう。揚げ物料理が食べたくなったら、ご家庭で作る前にぜひ一度お試しください。

- 串兵衛の串揚とは
- ※口当たりが軽い秘密は、串兵衛自家製2mmパン粉。
- ※揚物特有の匂いが少ない最高級の植物オイルを使用。
- ※店主自ら産地を訪ね、厳選した食材を直接仕入れ。
- ※鮮度がいいので表面を“かりっ”と、中は“ふわっ”とレアで揚げます。
- ※世界で一番自然な塩と言われる「栗国の塩」を使用。



- ◎岡山市北区表町1-1-5
- ◎営業時間:11:00~14:30・17:00~22:30
- ◎定休日:無休(不定休あり)
- ◎TEL:086-222-2994

「串揚一筋40年、こだわりの食材と落ち着いた雰囲気がお勧めです！」



株式会社ヒラタ
代表取締役社長
平田知之

串兵衛は、マスターの橋爪さんが串揚げ一筋四〇余年、ここ岡山で腕を磨いてこられたお店です。食材はもとより水、塩にまでこだわり、店主自ら産地へ出かけて自分で確かめて来られたものだけを出されています。明るく気さくなマスターのお人柄も好きで、落ち着いた大人の雰囲気のお店なので、私も会食などでよく利用させていただいています。ランチも人気があり、JCIの多くの特別会員の皆様からも愛されたい名店です。



JCI OKAYAMA MEMBERS

| 岡山青年会議所のアツいメンバーたち |

JCI OKAYAMA MEMBERS 02



Masahiro Otsuka

株式会社大真 代表取締役

大塚真弘

会社設立年:平成20年

業種:建設業

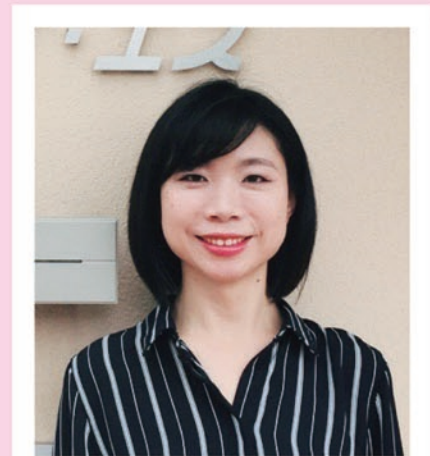
会社理念

すべての支えに感謝し、地域や皆様の支えになれる企業を目指す

JCI入会のきっかけ

自分と同じ年代の方々が岡山を代表するまちづくりに携わっていることに憧れを抱き入会いたしました。実際に入会してみると今まで仕事では関わったことのなかった業種・業態の方とも深い人間関係を築くことができ、日々の成長を実感しています。

JCI OKAYAMA MEMBERS 01



Yuko Takeuchi

株式会社ケイ・ワイ・エス 代表取締役

竹内優子

会社設立年:平成13年

業種:不動産業

会社理念

お客様おひとりおひとりの夢をかなえるたったひとつのものを追求し、住まいでお客様の心を満たす

JCI入会のきっかけ

JCIのことを知ったきっかけは会員の方からいただいた1本の電話でした。自分と同世代の方々がJCIで様々な事業や活動を通してお互いを知り、協力し合うことで自分の会社や家庭で活かせる学びがあるといったお話を聞き、漠然と感じていた不安の解消や自己成長と人脈の広がりが期待できるのではないかと思い入会しました。

新規メンバー 募集中

年齢・資格
募集期間
入会に際して必要なもの

公益社団法人岡山青年会議所
事務局

私たち公益社団法人岡山青年会議所は、20歳から40歳までの次世代を担う若きリーダーが集う組織です。交流範囲の様々な人との「出会い」や「学び」、「成長」を繰り返します。地域社会や組織において、より優れたリーダーとなるための切磋琢磨を重ね、より豊かなまちづくりと人づくりを目指します。皆様もぜひ私たちと一緒に岡山青年会議所で、新たな可能性にチャレンジしましょう。

満20歳以上39歳以下の品格のある男女
随時募集しております。詳しくは下記事務局までお電話にてご連絡ください。
◎入会申込書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)◎履歴書◎入会誓約書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)
◎入会承諾書 ◎作文 題目「岡山JCI入会にあたって」※万年筆またはボールペンで、楷書で記入のこと※700字以上
◎会社謄本※資格のみで正業に従事する場合は、資格証の写し ◎本人の住民票
◎写真※縦4cm横3cm4枚(うち一枚は履歴書に貼付)※白黒写真ネクタイ着用・スピード写真不可

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com